

今話題の世界の熱帯医学、渡航医学、感染症に関する
ニュース&トピックスをピックアップして配信いたします。

妊婦の尿路感染症状は細菌感染でないことが多い (ウガンダ)

検査がしっかりとできない場所では症状のみで抗菌薬を処方することが多く、多剤耐性菌の増加につながっている。ウガンダでの 2562 例を対象にした研究では、妊婦で尿路感染症状を訴える症例のうち培養で尿路感染を確定したのは 4 % のみで、96 % では不必要に抗菌薬が処方されていた。また ESBL、多剤耐性菌の割合も多く、容易に手に入る抗菌薬では十分に治療ができない状況であった。

日本でも症状のみで検査もほとんどせず尿路感染に対して抗菌薬が処方されることがあります。培養を含めた検査の重要性を改めて感じます

CID 65, 4, 15 August 2017, Pages 544–550

コレラ流行地域での経口ワクチン 1 回投与の効果 (Bangladesh)

先行研究ではコレラの経口ワクチン (Shancol) は 2 週間おきに 2 回接種で 53% の予防効果を示した。1 回接種だと簡便で Outbreak 時に対応ができるため、1 回接種の有効性を確認するため、バングラディッシュのダッカで大規模臨床試験 (RCT) が 2014 年に行われた。204,700 人が Randomised され、101 件のコレラ陽性患者に対して検討が行われた。ワクチンの予防効果は 40 %、重症化軽減効果は 63% であった。5 歳未満では効果が低い結果となった。

N Engl J Med. 2016 May 5;374(18)

イエメンでコレラワクチンの輸送、接種について政府や国際機関の間で問題となっています。コレラ流行時はある程度ワクチンが有効なことは分かっているのですが、効果的にワクチンを行き渡らせることは様々な問題があるようです。

<http://www.sciencemag.org/news/2017/07/cholera-vaccination-campaign-yemen-dropped>



【発行元】 特定非営利活動法人グローカルメディカルサポート (月 2 回)

□MAIL. info@npo-gms.org

□URL. <http://npo-gms.org/index.html>

□FB. <https://www.facebook.com/NPOGMS/>

